

JPLSG AML-05 臨床試験に参加された皆様へ

現在、JCCG AML 委員会では、「小児急性骨髄性白血病における CD25 高発現の臨床的意義の解明」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では日本小児白血病リンパ腫研究グループ（JPLSG、現日本小児がんグループ（JCCG））の AML-05 研究の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「小児急性骨髄性白血病における CD25 高発現の臨床的意義の解明」

2. 研究の意義・目的

成人の急性骨髄性白血病（AML）において白血病細胞の CD25(IL2RA)のタンパク質・遺伝子発現の有無は予後に相関することが報告されており、新たな治療標的として注目されつつあります。しかし現時点では小児 AML においてまとまった報告はなく、その臨床的意義は不明です。そこで本研究では小児 AML における CD25 発現と予後との相関を観察し、CD25 高発現 AML がどのような細胞遺伝学的特徴を有するのかを解析します。小児 AML においても CD25 が新規治療の標的となりうるかその潜在性を把握することに繋がると考えています。

3. 研究の方法

JPLSG の AML-05 研究に登録された情報を使用して、CD25 の発現量と予後との関連を調べます。これまでに「AML-05 および AML-P05 臨床試験登録症例を対象とする小児急性骨髄性白血病における癌関連遺伝子の解析の研究」によって解析された遺伝子発現情報を利用します。新たに血液や患者情報を求めることはありません。これらのデータは匿名化されております。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究では個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたって、患者さんが同定されるような情報が公表されることはありません。

5. 外部への試料・情報の提供

匿名化された情報を JPLSG から提供を受けます。本研究で用いた情報は外部への提供は行いません。情報は研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

実施責任者

千葉大学医学部附属病院 小児科
助教 日野 もえ子

実施担当者

千葉大学医学部附属病院 小児科
研究員 青木 孝浩

共同研究者

JCCG AML 委員会委員長（国立成育医療研究センター 小児がんセンター血液腫瘍科）
医長 富澤 大輔 （データ解析）

JCCG AML 委員会委員（横浜市立大学医学部附属病院 小児科）
講師 柴 徳生 （データ譲渡、データ解析）

JCCG データセンター長（国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター 臨床疫
学研究室） 齋藤 明子 （データ譲渡）

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。主治医へご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
揭示を行っています。

研究実施期間 ; 承認日 - 2024年3月末

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院小児科

本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院小児科

青木孝浩

043(226)2144

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1